

謹弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

石田 祐康 氏	徳山医師会	9月5日	享年 98
重田 幸二郎 氏	徳山医師会	11月13日	享年 83
舘林 欣一郎 氏	徳山医師会	11月17日	享年 94

編集後記

東京都江東区豊洲。

築地市場の代替施設として豊洲市場が建設された町であり、隣町の東雲とともに、タワーマンションが文字通り林立するエリアである。その豊洲の一角に、知る人ぞ知る「キッザニア東京」がある。キッザニアについて少し説明を加えると、「子供が、本物そっくりで作られた、さまざまな仕事やサービスの体験を通して、楽しみながら社会の仕組みを学べる」と、講談社の『キッザニア東京完全ガイド 2023-2024』には書かれている。こどもが多職種の職業体験ができるアトラクションスポットである。

現実社会の約3分の2のサイズ（子供が大人の気分、目線で過ごせるように）で造られた町に、パイロット、裁判官、パン職人、宅配のセールスドライバー、銀行員などなど約60のパビリオンが並ぶ。医療関係では病院、歯科医院などのパビリオンもある。各々、人気の濃淡があるので、ディズニーランド同様、待ち時間が短いものから数時間待ちのものまである（各パビリオンにはスポンサー企業が付いている場合が多い）。

前置きが長くなったが、ここに来るのは今回が10回目ぐらいだろうか。あくまで子供が職業体験をする所なので、親は子供の職業体験を見ているだけであり、はっきり言って毎回退屈である。このたび、子供とキッザニアを歩いていると「診療所」というパビリオンが目にとまった。確か前回来た時にはなかったような。よく見ると2023年10月18日～11月7日までの期間限定イベント、となっている。なるほど、今まで気が付かなかったのも無理はない。

ところで、スポンサーは？えっ!?な、なんと「日本医師会」と書いてあ～るではありませんか。今日入らなければ、次回は無い状況。一期一会。やや待ち時間が長い（その時1.5～2時間待ち）のが気になるが、他のパビリオンを捨ててでも行くしかない。子供に向かって、「あそこで、パパの仕事やってるから行こうね!」と、子供の気持ちはそっちのけで、いつの間にやら、親の方がもはや前のめりである。

しかし、日本医師会が臨時とはいえ、キッザニアにまで入り込んでいたとは。

医師会会員を増やすための、究極の青田刈りですね（笑）。

パビリオンの目的は、「臨床医」として人を助ける医療活動について学び、聴診器や包帯を使って、患者の診察・治療を行います、とある。とまあ、あとは至って普通の臨床医体験で、子供も楽しんだようであった。

（理事 藤原 崇）